

61 国語基礎力強化シート（漢字・小六）

分からないときは、
「ヒント」を見よう。

たくさん勉強
したね。



10

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねに書きましよう。

- 1 異国のふんいきがただよう町並み。
- 2 朝早くに食事を済ます。
- 3 休みの日に映画を見る。
- 4 人の意見を否定する。
- 5 校長先生が作品展をご覧になる。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 春のけはいを感じる。
- 2 月をかんそくする。
- 3 物体のしつりようを調べる。
- 4 市外きよくばんからかける。
- 5 家をかいちくする。

5	4	3	2	1

「ヒント」

- 一 「自分の国とは異なる国」のことだよ。
- 2 「済ます」は「終える」と言いかえられるよ。
- 3 「映画館」だと大きなスクリーンで見られるね。
- 4 「否」は「こぼむ」という意味があるよ。「否定」の反対は「肯定」だよ。
- 5 「ご覧になる」というのは「見る」の尊敬語で、「こちらをご覧ください」とも言うよ。
- 二 1 「けはい」は「感覚的にそうだと感じること」だよ。「け」は「きもち」、「はい」は「はいち」と同じ字だよ。
- 2 「かんそく」は「天体や気象などをかんさつして、そくていすること」だよ。
- 3 「しつ」は「ぶつしつ」と、「りよう」は「ぶんりよう」と同じ字だよ。
- 4 「きよく」は「ゆうびんきよく」と同じ字だよ。
- 5 「かい」は「あらた(める)ちく」、「ちく」は「けんちく」と同じ字だよ。

62 国語基礎力強化シート（漢字・小六）

漢字っておもしろいよね。



分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 川の源流をたどる。
- 2 敬老の日を祝う。
- 3 歌詞の意味を考える。
- 4 山おくに大きな樹木がある。
- 5 見た景色を忠実にえがく。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 こうかんがもてる人物。
- 2 過去の出来事をさいげんする。
- 3 さいぶにまでこだわる。
- 4 家庭科でかこう食品について調べる。
- 5 がぞうをパソコンに取り込む。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「源流」は「流れの源」のことで、「水源」という言葉もあるよね。
- 2 「老いた人を敬う」ということ。「敬」は「尊敬」と、「老」は「老人」と同じ読みだよ。
- 3 「詞」は「詩」と同じ読みだよ。
- 4 カブト虫は「樹液」を吸うよ。「木」は「き」と読まないよ。
- 5 「忠実にえがく」というのは「見たそのままをえがく」とことだよ。
- 二 1 「こうかん」は「このまじくかんじる」とことだよ。
- 2 「さいげん」は「ふたたびあらわす」とことだよ。
- 3 こまかいぶんと書くよ。
- 4 原料に手をくわえて作ったものが「かこう食品」だよ。
- 5 「が」は「がめん」と、「ぞう」は「えいぞう」と同じ字だよ。

63 国語基礎力強化シート（漢字・小六）

分からないときは
「ヒント」を覗きましょう。

こつこつやって
いこう！



／
10

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 招待状を郵送する。
- 2 けがが治るまで看病をする。
- 3 パズルで頭脳をきたえる。
- 4 切り株にこしかける。
- 5 つり糸を垂らす。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 よわねをはく。
- 2 卵を使ったちようりを楽しむ。
- 3 短時間でおぼえる。
- 4 飼いだのせわをする。
- 5 動物のしゅうせいを調べる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 郵便で送ることだよ。
 - 2 病院では看護師さんが働いているね。
 - 3 「頭」は「頭上」と、「脳」は「能」と同じ読みだよ。
 - 4 「切り株」は木を切り取ったあとに残った根本の部分だよ。
 - 5 「うでをだらりと垂らす」、「ひもを垂らす」などでも使うよ。
- 二 「ね」は「ぬいる」と同じ字だよ。
 - 2 「ちよう」は「ちようさ」と、「り」は「りか」と同じ字だよ。
 - 3 「おぼえる」と「目がさめる」の「さ(める)」は同じ字なんだね。
 - 4 「せ」は「せかい」と、「わ」は「わだい」と同じ字だよ。
 - 5 「動物のしゅうせい」とは「動物に見られる行動の仕方」のことだよ。

64 国語基礎力強化シート（漢字・小六）

分からないときは
「ヒント」を見よう。

言葉をたくさん
覚えたいね！



／
10

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてい
ねいに書きましよう。

- 1 本の巻末を見る。
- 2 学校で法律の勉強をする。
- 3 戸の開閉に気を付ける。
- 4 運動会の翌日は休みだ。
- 5 激しい風が木々をゆらす。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きま
しよう。

- 1 かぜをひいたので、びょういんに行く。
- 2 意外にやさしい問題。
- 3 よくこえた土地で作物を育てる。
- 4 害虫のてんてきを調べる。
- 5 自分たちにとってゆうりなゲーム展開。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「巻末」は本の終わりの部分。本を数えるときに「一巻、二巻」と言うよね。
- 二 「法」は「方法」と、「律」は「規則」と同じ読みだよ。
- 三 「開けたり閉めたりすること」を合わせて「開閉」と言うんだね。
- 四 「翌日」は「次の日」のことだよ。
- 五 「激しく変わる」ことを「激変」と言うよ。
- 二一 「びょう」は「やまい」とも読むよ。「いん」は「印（こざとへん）」だよ。
- 二 「やさしい」は「ぼうえき」の「えき」と同じ字だよ。
- 三 「こえる」は「ひりょう」の「ひ」と同じ字だよ。
- 四 「てんてき」とは、「ある生き物の生存をおびやかす他の生き物」のことだよ。
- 五 「ゆうり」は「りえきがあること」。反対の言葉は「不り」だよ。

分からないときは
「ヒント」を見よう。

言葉の意味もあ
わせて覚えられ
るといいね。



第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 熱い蒸気が顔に当たる。
- 2 みんなで合奏するのは楽しい。
- 3 高層ビルが建ち並ぶ。
- 4 名文を視写する。
- 5 独立を宣言する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で正しい読みで書いてねいに書きましょう。

- 1 けいきがよくなる。
- 2 大きさをくべつする。
- 3 チームのかなめとして活やくする。
- 4 手料理をししよくする。
- 5 つうしん機器を利用する。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 水蒸気が冷えて白いけむりのようにみえるのが湯気だね。
- 2 「演奏を合わせる」と書いて「合奏」なんだね。
- 3 「層」は「地層」と同じ読みだよ。
- 4 「視」は「視力」と同じ読み。目に関する言葉だから、「視写」は「見て書き写す」ことだよ。
- 5 「宣」は「宣伝」と、「言」は「言語」と同じ読みだよ。
- 二 1 「けいき」がよくなると、福引の「けいひん」もよくなるかもね。
- 2 「くべつ」とは「くぶんしてべつべつにすること」だよ。
- 3 物事の最も大切な部分や人のことだよ。話の最も大切な部分を「ようてん」と言うよね。「ししよく」とは「ためしにたべてみるよ」だよ。
- 5 「つうしん機器」を使って情報を伝達するよ。「学級つうしん」も同じ字だね。

分からないときは
「ヒント」を見よう。

ずいぶん
進んだよ。



第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 配付するプリントの枚数を数える。
- 2 船の模型を作るのが楽しい。
- 3 背後に人が立つ。
- 4 勇気を奮って参加する。
- 5 学級で討論会を開く。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 練習の成果を生かしてせいしよする。
- 2 竹にはふしがある。
- 3 時間をかけてせつとくする。
- 4 たんどくで出かけるのは危険だ。
- 5 木のねんりんを調べる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「プリントが一枚足りません。」などと言うよね。
- 2 「模」は「規模」では「ぼ」と読むけど、「模型」はちがうよ。
- 3 あお向けになって泳ぐ泳法のことを「背泳」と言うよね。
- 4 「決勝戦を前に奮い立つ」という場合にも使うよ。
- 5 「討」は「検討」と、「論」は「論理」と同じ読みだよ。
- 二 1 きれいにかけるとうれしいよね。「せい」は「きよ(らか)」という字だよ。
- 2 「きせつ」や「せつぶん」の「せつ」も「ふし」のことだよ。
- 3 「せつ」は「せつめい」と、「とく」は「え(る)」と同じ字だよ。
- 4 「たんどく」は「たんしん」、「ひとり」ということだよ。
- 5 「ねんりん」を見れば木のねんれいが分かるよね。「わ」の形になっているよ。

分からないときは
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

ていねいに書
いてね。



／
10

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましょう。

- 1 著名な作家のサインをもらう。
- 2 考えたことを簡潔に伝える。
- 3 厳しい顔つきで注意する。
- 4 磁力を使ったおもちゃを開発する。
- 5 郷土を思う気持ちが強い。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 たぐいまれな才能に目を見はる。
- 2 発表になれるように練習する。
- 3 じきゆう走をする。
- 4 ふくすうの答えを用意する。
- 5 巨大めいろがあるテーマパーク。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「著名」とは、「有名」ということだよ。「著」は「著作」と同じ読みだよ。
 - 2 「簡潔にまとめましょう。」というのは、問題でよく見る指示だよね。
 - 3 人に注意するときは、厳しい声になるね。
 - 4 「磁石」や「電磁波」と同じ読みだよ。
 - 5 「郷」は「故郷」、「郷里」と同じ読みだよ。
- 二 1 「たぐい」は「しゅるい」の「るい」と同じ漢字だよ。
 - 2 「な(れる)」のは心だから、「りっしんべん」が部首だよ。
 - 3 「じ」は「じぞく」と、「きゆう」は「えいきゆう」と同じ字だよ。
 - 4 「ふく」は「ふくざつ」と同じ字だよ。
 - 5 「めいろ」に入るとまよってしまふよね。「ろ」は「どうろ」と同じ字だよ。

分からないときは
「ヒント」を見よう。

言葉っておもしろいなという気持ちが大切！



第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてに書きましょう。

- 1 歴史を専門とする学者。
- 2 穀物の生産量を調べる。
- 3 内閣の組織について学習する。
- 4 沿道でマラソン選手を応援する。
- 5 劇場で映画を見る。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で正しい読みで書いてに書きましょう。

- 1 事態のしんそうをさぐる。
- 2 失敗のべんかいをする。
- 3 すいえいが得意だ。
- 4 こんどこそ正しいに書く。
- 5 めいはくな事実をつきつけられる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「専門」とは「特定の分野の学問や仕事などを研究すること」だよ。
2 米、麦、豆などを「穀物」と言うよ。
- 3 日本の政治の中心となる人を内閣総理大臣と言うよね。
4 「沿」は「沿岸」と同じ読みだよ。
5 「映画館」のことを「劇場」と呼ぶことがあるよね。
- 二 1 「しんそう」とは、「物事の本当のすがた」のことだよ。
2 「べん」は「べんろん」と、「かい」は「かいとう」と同じ字だよ。
3 「すいえい」は、「みずの中でおよぐこと」だよ。
4 「こん」は「こんかい」、「こんや」と、「ど」は「どすう」と同じ字だよ。
5 「あきらかで、はっきりしている」という意味だよ。

分からないときは、
（ヒント）を見よう。

第 学年 組 番 名前

しっかり続
けているね。



一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてに書きましよう。

- 1 新しい命が誕生する。
- 2 競技団体に加盟する。
- 3 友達と二人だけの秘密にする。
- 4 憲法を学んで法律家になる。
- 5 納品期限を守る。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 六年生にしんきゆうする。
- 2 整ったぶんしようを書く。
- 3 花びんに水をさす。
- 4 こんぼん的な解決を目指す。
- 5 気に入ったかぐを置く。

5	4	3	2	1

（ヒント）

- 一 1 誕生日には、歌を歌ってお祝いしたいね。
- 2 「加入すること」だよ。「盟」は「連盟」と同じ読みだよ。
- 3 「秘密にする」とは「ないしよにする」ことだね。
- 4 社会科で、すべての法やきまりが「日本国憲法」にもとづいて作られていることを学習するよ。
- 5 「納品」は品物を納めること。「納」は「納税」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しん」は「しんしゅつ」と、「きゆう」は「がっきゆう」と同じ字だよ。
- 2 「しよう」という字は、「たつ」と「はやい」を組み合わせるよ。
- 3 「ねむけがさす」、「いやけがさす」という使い方もするよ。「指す」ではないよ。
- 4 「こんぼん」と「こん底」は同じ意味の言葉だよ。
- 5 「か」は「いえ」と、「ぐ」は「どうぐ」と同じ字だよ。

シート1から
通算して、700
問に達するよ。



分からないときは、
「ヒント」を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてに書きましょう。

- 1 友達から手紙が届く。
- 2 危ない橋をわたる。
- 3 ふるさとの発展を目指す。
- 4 ステージの幕を上げる。
- 5 物の価値を考える。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で正しい読みで書いてに書きましょう。

- 1 裁判で無実をしようげんする。
- 2 友達のうかつな行動をせいしする。
- 3 たえ間なく水が流れる。
- 4 航空会社のしよくいんとして働く。
- 5 進んでしようぶにいどむ。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「かゆいところに手が届く」という使い方もあるよ。
- 2 「危ないこと」を「危険」とも言うよ。
- 3 「展」は「展示」、「展覧会」と同じ読みだよ。
- 4 「幕」は「幕府」とは読みがちがうよ。お祭りのときに紅白の幕を張るよね。
- 5 「価」は「価格」と同じ読みだよ。
- 二 1 「しよう」は「しようめい」と、「げん」は「げん」と同じ字だよ。
- 2 「せい」は「せいげん」と、「し」は「と（める）」と同じ字だよ。
- 3 「たえ間なく」は、「た（えず）」とも言うよ。
- 4 「しよく」は「ちしき」の「しき」と同じつくりをもつけど、「耳（みみへん）」だよ。
- 5 「しようぶ」すると「か（ち）ま（け）」がはっきりするね。